

選 定 理 由

採択地区名【尾張東部】

種 目 名	器楽合奏	採択替えの有無	有 ・ 無
発 行 者 名	教育出版社	従来の発行者名	教育芸術社

1 学習指導要領との関連

- 基本的な奏法を身につけながら学びのねらいをもって始まり、合奏を含めた学びあえる展開、終末はまとめの曲が設定され、見通しをもった器楽の活動ができるように工夫されている。

2 「あいちの教育の基本理念」との関連

- 我が国の伝統や文化の継承につながる和楽器について、わかりやすく多種取り上げている。

3 内容

(1) 内容の選択

- ・ 「名曲旋律集」では、鑑賞と表現を横断する教材を配列するなど工夫されている。また、和楽器には口唱歌が示されている。
- ・ 和楽器と諸外国の楽器の奏法や音色を比較し理解を深めることができるように工夫されている。

(2) 内容の程度

- ・ 段階的に技能が身につくよう、明確なねらいのもと、取り組みやすく編曲された教材が配置されており、自主的な活動を促し、進んで学びあえるよう配慮されている。
- ・ 練習のポイントを示し、段階的に基礎的な技能が身につくよう配慮されている。「話し合おう」では協働的な活動が展開できるよう配慮されている。
- ・ 各楽器のページに演奏家からのメッセージを掲載したり、巻頭や口絵の写真、折り込みページに資料を掲載したりして幅広い知識を身につけられるよう工夫されている。

(3) 内容の構成

- ・ 基礎的な奏法から「まとめの曲」、「合わせて演奏しよう」「名曲旋律集」へと系統的な配列が工夫されている。
- ・ 発達段階に応じて取り扱うことができるよう編曲・構成がされており、さらに観賞や創作活動と結びつけ広げられるよう工夫されている。

4 表記・表現及び使用上の便宜等

- (1) 各楽器で色分けされたゾーンの中で学習内容のポイントを示し、見通しをもって学習に取り組むことができる。
- (2) 見出しは色分けされ、巻末資料は折り込みを利用した構成で、リコーダーの運指表やギターのコード表を大きく見やすくする工夫がされている。
- (3) 演奏している鮮明な写真や図表を多く用いるとともに、本文と関連付けながら興味関心を高められるよう見やすく適切に配置されている。

5 印刷・造本等

- (1) 楽器ごとに色彩が統一され、印刷は鮮明で、文字の大きさや書体が適切である。また、カラーユニバーサルデザインに配慮され、判読しやすい文字や配色で、集中して学習できるよう工夫されている。

(2) 表紙、裏表紙には音楽の表現の美しさをイメージさせるイラストが描かれている。サイズはAB版で楽譜が見やすく、背表紙のある堅ろうな作りで造本されている。